



一中だより



貝塚市立
第一中学校
令和2年度第7号
2020.12.8



自分の進路を見つめよう ~校長室から~



12月になりました。一年で最後の月です。旧暦では「師走」と呼ばれ、別の呼び方では「春待月（はるまちづき）」とも呼ばれます。いよいよ寒くなる月ですが、その次には春が待っている季節でもあります。

さて、3年生にとってはいよいよ進路決定の時期です。しかし、3年生だけでなく、1・2年生にも、この時期に自分の進路について考えてほしいです。中学校の3年間はすぐに過ぎます。義務教育の最後の3年間であり、人によっては社会に出る前の最後の学校生活です。

私たちは、いつか必ず、自分でお金を稼ぎ、生活していかなければなりません。就職してお金を稼ぎます。その就職が、中学校を卒業してすぐなのか、高校などの卒業後なのか、大学などの卒業後なのか……という選択になります。

仕事をして生きる時間は、多くの人にとって学生生活よりも長い時間となります。あなたはどんな仕事をしてお金を稼いでいきますか？ どんな仕事をして、どのように生きていきたいですか？

逆に言えば、どんなことはしたくないですか？ どんなことは苦手なことで、どんなことはがまんができませんか？

向き不向きはなかなか簡単にわからないこともあります。じっとしてはわかりません。いろいろな経験をする、いろいろな人と話し、話してみること、いろいろな勉強をし、いろいろな本を読むこと……その中で、自分が本当に好きなこと、自分が本当に嫌いなこと、自分のあこがれる生き方などが見えてきます。「思い立ったが吉日」という言葉もあります。その気になったら、その日から、自分の進路を見つめ、考え、行動していきましょう。



貝塚市立第一中学校

<http://www.kaizuka.ed.jp/dai1-jh/>



【一中ホームページもぜひご覧ください】

所得や学歴より「自己決定」が幸福度を上げる

神戸大学の西村和雄特命教授らが国内2万人に対して行ったアンケート調査の結果、所得（お金）や学歴よりも、自分の意思で進学先や就職先を決める「自己決定」が幸福感に強い影響を与えていることが明らかになりました。アドバイスはできますが、実際に進学や就職をするのは親でも先生でもありません。自己決定で幸福な人生を！

【携帯電話について】生徒指導部より

SNSに関するトラブルが後を絶ちません。世間でも、出会い系サイトに係る犯罪のほかに、コミュニティサイトを悪用して、子どもの心身を狙った重大かつ悪質な犯罪の発生が目立っています。また、子どもが被害を受けるばかりでなく、子ども自身が加害者となって犯罪にかかわってしまうことも増えています。

最近の子どもたちは、生まれたときから身近に携帯電話やインターネットの環境がある世代です。そのため、「使い慣れているはず」「インターネットの危険性についても知っているはず」などと考えがちですが、子どもがインターネットの世界で守らなければならないルール、人と人が付き合う上でのマナーについての経験、知恵を十分に備えていないことが多いです。長期休暇に入る前に今一度、携帯電話の使用について家族で話し合ってください。

（家庭のルールの例）

- 接続するサイトやダウンロードするアプリは保護者に確認する。
- 下着姿や裸の写真は撮らない、撮らせない。
- 個人を特定される情報を書き込まない。
- 利用料金や利用時間を決める。
- 知らない人と電話やメール、メッセージの交換をしない。
- 困ったことがあれば、必ず保護者にすぐに相談する。
- 他人のID・パスワードを勝手に使わない。
- ルールを守れなかった時のルールを決める。（警視庁より）



「花の一中サポート隊」活動報告

11月20日（金）13時10分より『花の一中サポート隊』の活動として、PTA会員（保護者）の皆様にご参加いただき、プランターへのビオラの苗の植え替え作業を行いました。朝方まで降っていた雨も上がった曇り空の下、サポート隊による手際の良い、かつ丁寧な作業によって、用意していた30個余りのプランターはあっという間にビオラの苗でいっぱいになりました。最後にプランターを正門付近に設置して作業は完了。ご参加いただいた方々には、余った苗をお持ち帰りいただきました。

それから2週間。ビオラたちは黄色やオレンジの小さな花を咲かせ、登校して来る一中生たちの目を楽しませています。懇談会等でお立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。

